

## 第2回只見線利活用プロジェクトチーム会議

### 次 第

日 時：平成29年5月29日（月）10時00時

場 所：会津坂下町役場 3階大会議室

1 開 会

2 挨拶

3 議 事

- (1) 第1回ワークショップの開催結果について
- (2) 只見線利活用計画の策定について
- (3) ワーキンググループの設置について
- (4) クラウドファンディングの活用検討について
- (5) その他

4 閉 会

## 第2回只見線利活用プロジェクトチーム会議 出席者名簿

### ( 構 成 員 )

所 属	役 職	氏 名	備考
会津若松市	地域づくり課長	斎藤 哲雄	
会津美里町	まちづくり政策課長	歌川 敏	
会津坂下町	政策企画班長	上谷 圭一	
柳 津 町	地域振興課長	菊地 淳一	
三 島 町	地域政策課長	鈴木 庄蔵	
金 山 町	復興観光課長	小野田 博芳	
只 見 町	総合政策副課長	星 一	
只見川電源流域振興協議会	事務局長	馬場 一義	
只見町観光まちづくり協会	事務局長	酒井 治子	
公立大学法人会津大学短期大学部 産業情報学科	准教授	高橋 延昌	
特定非営利活動法人素材広場	理事長	横田 純子	
公益財団法人ふくしま自治研修センター	総括支援センター兼教授	吉岡 正彦	
福 島 県 生 活 環 境 部	政策監	金子 隆司	

### (オブザーバー)

所 属	役 職	氏 名	備考
国土交通省東北運輸局	交通政策部	交通企画課長	菊地 香織
	観光部	観光地域振興課長	栗田 利彦
	鉄道部	計画係長	羽鳥 孝弘

### (県関係・事務局)

所 属	役 職	氏 名	備考
福 島 県 生 活 環 境 部	生活交通課長	関根 昌典	
	生活交通課主事	安部 英亮	
	生活交通課主事	伊藤 茜	
福 島 県 会 津 地 方 振 興 局	県民環境部	副部長兼県民生活課長	穴澤 竜太
	県民環境部	県民環境課主事	古賀 薫
福 島 県 南 会 津 地 方 振 興 局	企画商工部	副部長兼地域づくり・商工労政課長	伊藤 裕幸
	県民環境部	主幹兼副部長兼県民環境課長	小檜山 裕展

# 第 1 回ワークショップ開催結果

## 第 1 回

開催日時：平成29年5月13日（土）10：30～15：00

場 所：金山町開発センター 大会議室

参加者数：約60名

内 容：第1部 講演会

### テーマ「ローカル線を活用した地域活性化の取組」

[講師 ひたちなか海浜鉄道株式会社 代表取締役 吉田 千秋]

- ひたちなか市には「よそ者」を受け入れ、積極的に使う風土がある。
- 地域住民は「おらが湊鉄道応援団」を設立し、組織的に活動している。
- 行政、鉄道会社、地域住民がお互いの立場を理解し、それぞれの立場で出来ること、出来ないことを理解することが重要である。

[講師 B Sビジュアル株式会社 代表取締役 澤田 敬光]

- 地域活性化について考えるには、「活性化」とは何かを理解する必要がある。
- 地方はイベントで疲弊している。イベントを連発することは活性化ではない。
- 只見線を活用した地域活性化のビジョンを明確に定めることが必要である。

第2部 意見交換会 ※グループワーク形式による意見交換会

### テーマ「只見線沿線地域の魅力と課題」

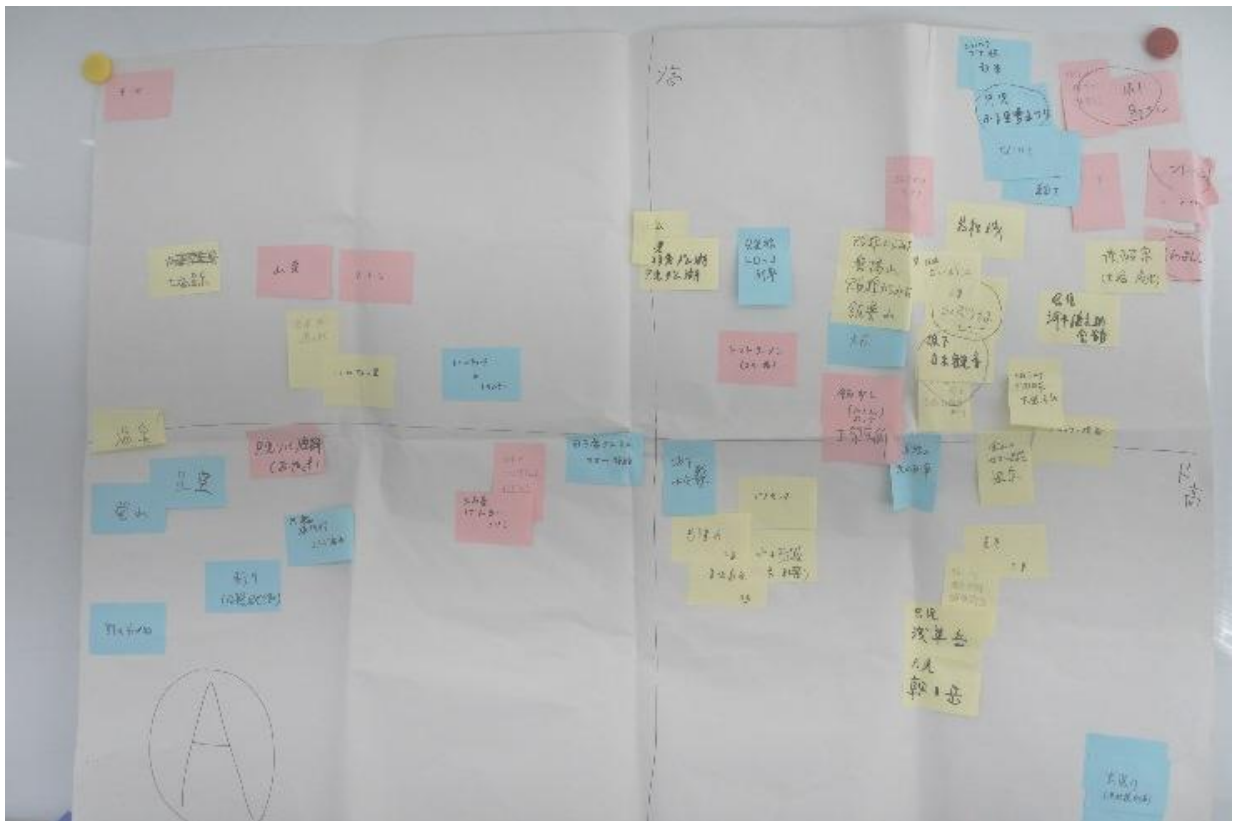
## 意見交換会（グループワーク）の流れ

- 1 A～H班までの8班に分かれる
- 2 沿線地域の魅力について、各自付箋に記入（赤：食 黄：観光スポット 青：その他、）
- 3 上記2を訴求力（縦軸）・独自性（横軸）で整理
- 4 上記3を各班で1～2つに絞る
- 5 各班で観光ツアーを考える（軸となる観光資源・ターゲット・立ち寄り場所・予算等）

## 実施結果

### ▶ A班

A班から出た軸となる観光資源は、坂下並木観音、柳津虚空蔵尊、只見の河井継之助会館といった歴史、そして馬刺し、あわまんじゅう、会津地鶏、沼沢湖のヒメマス、マトンケバブといったところの食を組み合わせ、酒も食も好きな歴史好きの女子、歴女をターゲットとした。立ち寄り場所としては、坂下並木観音、柳津虚空蔵尊、早戸温泉、河井継之助会館、只見の雪まつりがある。立ち寄り場所で得られることとしては、歴史に触れて感動、食と酒で満足である。交通機関の基本は当然只見線とし、立ち寄り場所へは徒歩散策、距離が有る場合は一部バス等の二次交通を利用し移動する。食事は坂下で馬刺し定食やそば、そういったものを食べ、一泊目の夜は早戸温泉に泊まって会津地鶏と最寄の湖、沼沢湖のヒメマス、二日目の夜は只見でマトン焼肉、マトンケバブ、復刻した日本酒・岩泉、米焼酎のねっかを飲みながら夜を明かすといった案を進めていきたいと思う。旅行名は、『まんじゅうこわい・歴女の旅』と考えてみた。予算が取れるかわからないが、2万円くらいに抑えたいと計画した。



	旅程	想定される課題
軸となる 観光資源	馬刺、あまふじやう、地ビール、ヒメマズ、 ホカホキヤ、マトン(ヒケバツ)、岩泉とねか 立木観音、柳津=くさう様、河井=くさう村、雪まり	
ターゲット層・ 同行者	歴女(食べ好き) (酒も)	

立寄り場所	立木観音 柳津=くさう様 早戸温泉 道入馬刺のやま 河井継之助記念食館 只見の雪まり	雪 休憩がとれる
立寄り場所で 得られること	感動 <del>体験</del> 歴史にふれて 食と酒	
交通手段 経路	只見線 徒歩 (女々川のバス)	
食事(昼)	馬刺定食 そば <del>そば</del> (お遠きそばなど)	
食事(夜)	合津地ビールヒメマズ マトン焼肉とヒケバツ(岩泉)とねか	
泊数	2泊	
宿	早戸温泉、只見(民宿、カサリ)	

旅行名 (一言で)	ふじやうにわい 歴女の旅	
想定予算 (一人当たり)	20,000.	

▶ B班

ツアー名は『地酒とロマンと只見線ツアー』、ターゲットは首都圏の中年夫婦とした。沿線のおいしいお酒とおつまみを楽しめる、小出から会津若松まで行く。越後須原では、かまくらの中でカクテルとおつまみを楽しむ、会津中川駅ではこちらのほうにしかない雪食地形、只見川の景色をつまみに地酒を飲み、会津坂下ではデザートとしてべこの乳、〇〇に行きたい方は〇〇にと選べるコースを用意する。景色とおいしいお酒、料理のコースを存分に楽しんでいただき、小出を出て、只見で泊まるのは只見荘、そばと地酒を楽しんでいただく。ジビエ料理もあればよいという案も出た。



	旅程	想定される課題
①	軸となる観光資源 沿線の美味しい酒・おつまみ	
②	ターゲット層・同行者 首都圏の中年夫婦	

④	立寄り場所 小出 ①越後須原 ④会津宮下 ②只見(酒) ⑤会津板下 ③会津中川 ⑥若松	<del>④</del> ハビの乳酒運
	立寄り場所で得られること ①かまくらでカクテル、おつまみ ②只見荘でそば(夕食)地酒 ③アバンサシと只見川の景色 ④地鶏弁当	⑤ハビの乳とSweets ⑥   駅からの移動手段
	交通手段経路 小出 - 会津若松	
	食事(昼) なし	
	食事(夜) 只見荘でそば+地酒 (ジビエ料理?)	
	泊数 ≒ 1	
	宿 <del>本荘</del> 只見荘	

③	旅行名(一言で) ロマチックに「地酒とお酒 ロマンと只見線1P-」	
	想定予算(一人当たり) 2.5万円	

▶ C班

C班には個性的な人が多く自分に甘いので右側ばかりが集まった。タイトルは『星 賢孝と行く、俺しか行けない場所（巡り）』とする。星賢孝という郷土写真家が俺しか行けないと言う場所で、賢孝さんに連れて行っていただく、2泊3日のもりだくさんなプランである。ターゲットは定まっておらず、10人くらいの男女混合が望ましい。2泊3日で第一鉄橋から第四鉄橋まで行き、只見線を撮り、宮下ダム、田子倉ダムを見る。その上でポイントとなるのは、金山町に移住してきた方にヒメマスを食べさせたいということで、二日目の朝起きたら、賢孝さんが待つ和船に乗って川霧の中を気持ち良く船に乗って散歩をし、現実に振り返り沼沢湖のヒメマスを獲り、カボチャを採り、ご飯にして食べる。2泊3日のコースである。只見線を利用するが、**多くが代行バス、タクシーを使わないと可能にならないコース**であり、コースは多くあるがまとめてテーマとするのはむずかしい。





資料2 只見線沿線の観光資源 課題検討シート

C 班

酒井治子 星賢孝 阪下昭二郎 増井弘勝

	旅程	想定される課題
軸となる観光資源	<del>6月</del> 6~8月	裸まいり... 和歌津1月7日限定だから入らねえわい。
ターゲット層・同行者	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ (10人位までのグループ)</li> <li>○ 女子? 男子 混合</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 和歌津の男子の <del>裸</del> 男気を見せたい</li> <li>○ ので、女子向けがいいという意見もあり。</li> </ul>

会津若松 → 会津宮下 まで列車

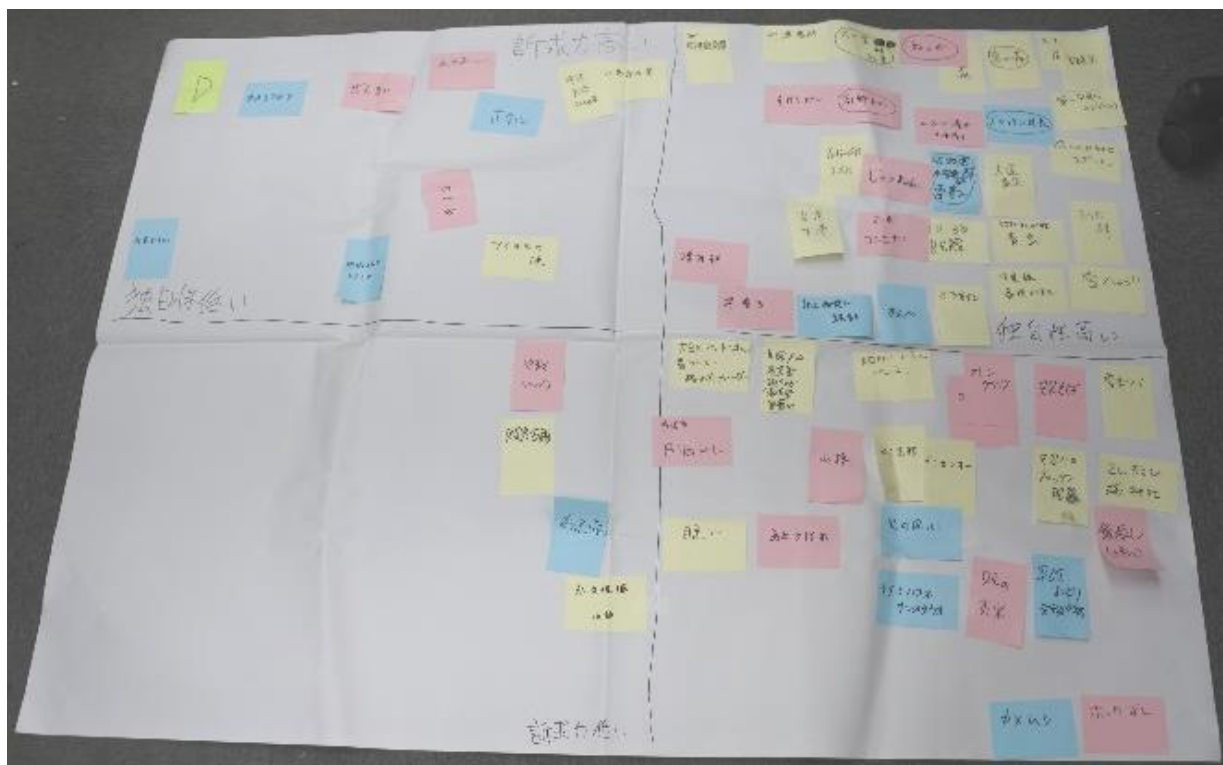
立ち寄り場所	① ② 会津宮下 ~ 川口までの撮影 早稲温泉 or 栄光館 ③ 川霧の中を舟で体験 (只見川) ④ 沼沢湖 エキマス釣り 山崎山崎 ⑤ 東CC寿屋 or 只見荘 ⑥ 田舎の温泉 スパリゾート	1日目泊 栄光館 2日目泊 川霧の中を舟で体験から舟に乗る エキマス、かまぼこ 体験体験 → 昼食 夕飯と只見線沿線撮影スポット 3日目 只見亭 (田舎の温泉) → 温泉 三石神社 マチケバツ
立ち寄り場所で得られること	只見線の絶景スポットを撮影 ← タクシー手配。常にガイドが必要で。非現実的な川霧舟下り体験。場所の事前予約・交渉 エキマスの継承。ダムカードの取得	タクシー手配。常にガイドが必要で。場所の事前予約・交渉
交通手段経路	・列車 ・タクシー ・代行バス	費用がかわって一般の人向けにはない。かつ、経路が複雑である。
食事(昼)	(エキマスや温泉焼き) (マチケバツ)	→ 温泉焼き提供の場がない。
食事(夜)	・山菜の二米料理 ・郷土料理	→ 独自性が取れない料理法。
泊数	2泊3日	長期休暇でない限り限定的
宿	栄光館、東CC寿屋、只見荘、山崎山崎	

星賢孝と行く ↓ 俺は ~~行く~~ 行けない場所だから ↓

旅行名 (一言で)	<del>秘境川霧舟下り体験</del>	星賢孝の知名度を益々上げる必要あり。
想定予算 (一人当たり)	2泊3日 宿 2000円 食事 3000円 体験 2000円 (泊2夜 × 2 2夜) ・列車東京~只見往復 18000円 ・タクシー 20000 × 3 60000円	

▶ D班

軸となる観光資源は、1日目は恵の森、2日目は要害山と大白川、ターゲットは家族である。立入場所は三石屋でそばろパンや玄米パンを買い、森林の分校ふざわへ行き、恵の森、むら湯で汗を流し、森林の分校ふざわで宿泊する。2日目は滝神社、三石神社を参拝後、要害山に登る。次に只見駅に行き、大白川、六十里越に行ったあと、浦佐、東京のほうへ帰ります。経路はバスと電車、食事はそばろパン、玄米パン、南郷トマトなど、お酒を飲める方はねっかがあります。2泊目も同様に森林の分校に宿泊する。課題としては、**分校は宿泊可能人数が少ないこと**である。



資料2 只見線沿線の観光資源 課題検討シート

D 班

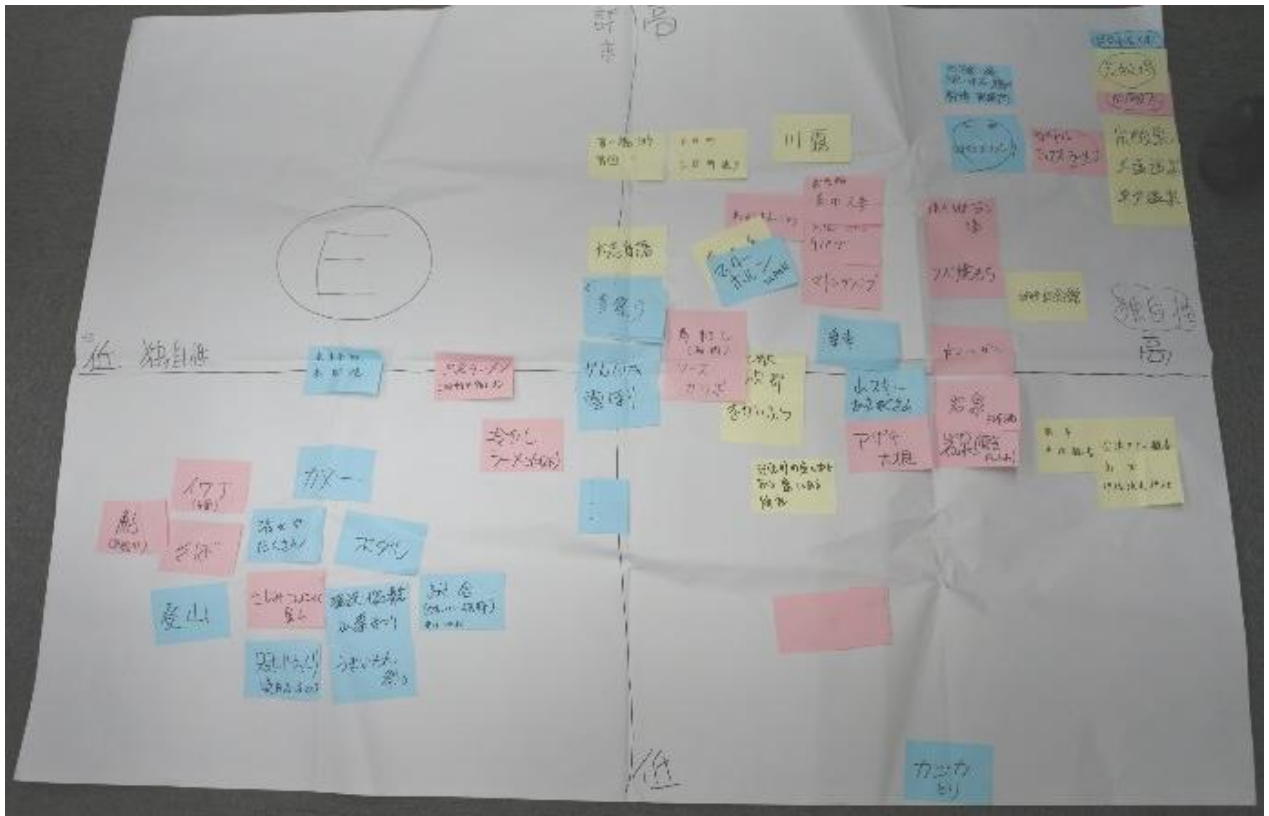
	旅程	想定される課題
軸となる観光資源	<ul style="list-style-type: none"> <li>鬼ヶ森 1日目</li> <li>要害山 2日目</li> <li>大白川</li> </ul>	
ターゲット層・同行者	家族	

立寄り場所	1日目 ↓ 三石屋(そば・うどん、玄米パン) → 舟沢森の宿 → 鬼ヶ森 → ぶらり蒸し → 舟沢宿 2日目 瀧神社 → 三石神社 → 要害山 → 只見駅 → 大白川 → 大+屋越 → 大白川 → 浦佐温泉	
立寄り場所で得られること		
交通手段 経路	バス 電車	
食事(昼)	そば、玄米、トコト	
食事(夜)	マシロ焼酎、わが トコト	
泊数	2泊	
宿	家族	

旅行名 (一言で)	わが、がいの森林の旅	
想定予算 (一人当たり)		

## ▶ E班

メンバーを見るとユネスコエコパーク、炭酸場、横並びで意見が白熱し、右上が多くなってきている。私が書いたのは、カヌー、そば、あゆ、登山と、掘り下げないとわからないテーマで、地元の方は具体的でこれらを組み合わせようという傾向があり、熱い思いが強すぎてまとまらなかった。町長と向かい合ってワークショップに参加できるのは珍しい機会である。東京から出て只見の山を登ってもらうプランを、ダイヤを考慮してご案内できるかと考えている。うまく会津盆地を絡めていけないか、どこに価値があるのだろうかといった具合である。隊長からは炭酸、大塩、この辺ではないかとの意見があった。ターゲットは50代、60代の女性で、炭酸、美容、炭酸水、マイナスイオン、恵の森、山菜料理は、都会の方にはなかなか食べる機会のないものである。健康を意識する女性に楽しんでもらえないかということで、タイトルは『歩いて食べて肌もしっとり、まだまだいける美魔女ツアー』とした。一連の話の中で、真面目に綿密に考えるメンバーで、ダイヤ上無理ではないか、この時間、只見線は走っていない、田島から恵の森に二次交通はあるのかと、つまづいてまとまらなかった。今後、**ダイヤの使い方や二次交通をどのように組み立てていくか、提供していくか**という課題が見えてきた。他の方のご意見として、福島側だと田島、会津盆地、只見川沿いに回すかに執着してしまうが、魚沼からの視点をもっと取り入れると、東京からは新幹線で早いこともあり、視野を広げて今後、提案していきたい。



▶ F班

只見町関係者と魚沼関係者に2名ずつの構成なので、発着を新潟に絞って、ツアー名は『5月6月限定プラン JR只見線で巡る新緑ブナ林とうまい物の旅』とする。大白川に8:45に着くと次は1:57まで電車がないので、平石亭というそばの人気店があるのでそこで食事をする。**大原スキー場には素晴らしい蓮池があるが、今は行く手段がない**ので、これをきっかけに作ってほしい。1:57の電車に乗り、只見に2:28に着く。新緑ブナ林を散策し、只見荘等の近隣宿に宿泊する。夜は郷土料理やマトンで食事をする。2日目は金山まで足を伸ばして、炭酸水を汲んでもらう。復活した美好食堂で食べる。帰りの電車ではマトンケバブを配布し、汲んだ炭酸水でねっかの焼酎割を飲みながら帰ってもらう。ダムマニアがいるので、さかいほろこさんに企画書を持って行きます。



	旅程	想定される課題
軸となる観光資源	県境の村林・雪合地形(ゴツゴツパーク) マトレ <del>村</del> 水鏡村 ツツ(田子湖・17キロ)	
ターゲット層・同行者	60代	

↓

↓

立寄り場所	① 大田川 8:45 大原スキー場のエピソード 13:59 庄(平石寺の2号) 只見 14:28 村林の村林 湯ら屋 ② <del>14:45</del> 炭酸水・三好会堂 - 舞列車の中マトレバグと 湯ら屋の炭酸水作り村	
立寄り場所で得られること	雪合地形が見え子 炭酸水の(お取り)体験	
交通手段 経路	JR只見線 湯元タクシー	
食事(昼)	とほ・17f. マトレバグ	
食事(夜)	柳上料理 おんか	
泊数	1	
宿	ゆり屋・只見荘	

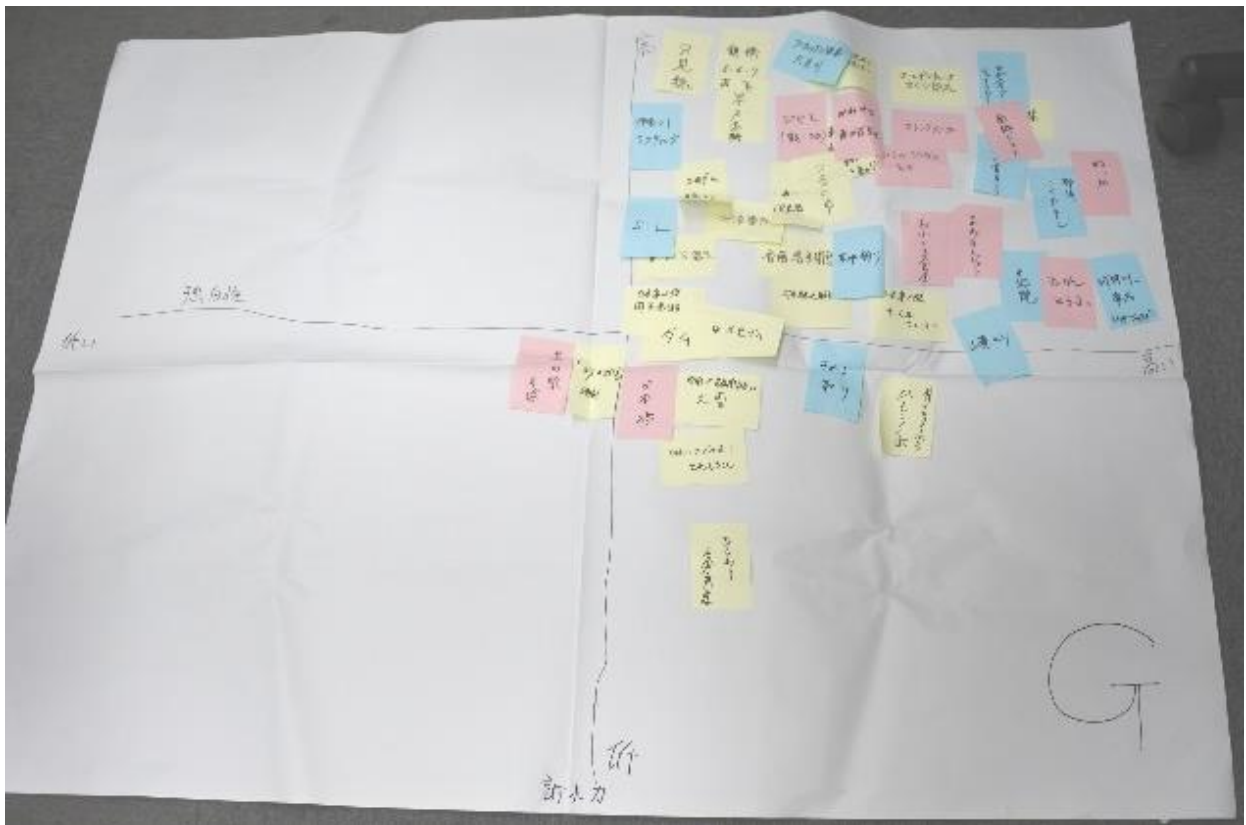
↓

↓

旅行名 (一言で)	5・6月限定 プラレ 只見線沿線の見子・2泊2日10-17 <del>雪合の村林</del> 新緑の村林と 湯ら屋の湯	
想定予算 (一人当たり)	<del>村林</del> ¥ 25,000.	

▶ G班

只見のことが大好きな班で、旅行名は『只見線で行く奥会津絶景周遊の旅～ゆっくりと大人のぜいたくな時間を過ごしてみませんか～』ターゲットは、四季島という電車を利用するような、スローな観光を求める裕福な方である。泊数は、各駅1泊で6泊とする。小出を出発し、魚沼田中でこのそばを知らずしてそばを語るなかれと言われる弥三郎そばをいただく。只見にきていただいて、柳津の七日堂の裸詣りに出るのがコンセプトなので只見で一泊し、ねっか焼酎等のおいしいお酒、郷土料理を堪能していただく。本名の鶴亀荘で一泊し、いいお湯があるので入っていただく。早戸温泉にもいいお湯があるので立ち寄っていただく。三島ではぶどう細工が有名で、三島工芸館に立ち寄る。ぶどう細工は大変高価なもので、着物のスタイルにはぶどう細工の鞆が似合う。洋装にはバーキンが45万円と値段がわかってしまうが、三島は値段がわからない。貴重な物で、銀座のママさんなどは着物に合わせて買い求めるという高級なものである。三島で一泊し、桐箆笥、つる細工を見ていただく。柳津ではあまじゅうの体験コーナーがあるので、参加していただく。夜7時には七日堂の裸詣りに男性は出場していただくプランとなっている。会津若松に行って、このプランは終了である。小出から会津若松へ向かうプランで、予算は20万円～30万円となっている。



	旅程	想定される課題
軸となる 観光資源	只見線	
ターゲット層・ 同行者	四季島を利用する スローな観光を求むる者	

立寄り場所	小出 三島 魚沼中 柳津 (2ヶ所) 只見 本名 野	
立寄り場所で 得られること	魚沼中 <small>1023F35#2 20x45x70のバスが走る</small>	
交通手段 経路		
食事 (昼)		
食事 (夜)		
泊数	6泊	
宿		

旅行名 (一言で)	只見線に沿って 奥気津 観光周遊の旅 ゆくりと楽しむ観光を時間かけて楽しむ	
想定予算 (一人当たり)	190000 ~ 350000	



▶ H班

タイトルは『只見線で行く奥会津新緑ツアー』とする。軸となる観光資源は圓蔵寺、田子倉ダム、ターゲットは国内の60歳代である。柳津に集合し、只見線に乗って、ボランティアガイドによるガイドを聞きながら圓蔵寺、門前町を散策する。ふなきのそばを食べ、只見線に乗車し只見まで景色を見ながら楽しんでいただく。只見ではレンタサイクルを利用し、河井継之助記念館で歴史を学び、一泊し、翌日体力があればレンタサイクルで田子倉ダムに行く。体力を使うので60歳代が限界かと思うが、若い人はやりたがらないプランなので、アクティブな60歳代が対象である。田子倉ダムを見学し、じっくり楽しんでいただく。初日の河井継之助記念館で力尽きた場合は、翌日はタクシーを利用して田子倉ダムへ行ってもよいが、ブナ林を見ながら静養する。只見に泊まり、ねっか焼酎や只見の米、郷土料理を楽しんでいただく。予算は2万円程度である。



資料2 只見線沿線の観光資源 課題検討シート

1-1 班

	旅程	想定される課題
✓ 軸となる観光資源	圓蔵寺 田子名湖	
✓ ターゲット層・同行者	国内 60才代	

立寄り場所	圓蔵寺、門前町 只見線乗車(柳津-只見) 河井継之助記念館 田子名湖	
立寄り場所で見られること	ホウレンソウカサに巧み圓蔵寺のカサ 只見線乗車 田子名湖の見学	
交通手段 経路	只見線 只見町内は自転車(9km)	
食事(昼)	小食の店	
食事(夜)	只見の郷土料理に満足 わが焼酎	
泊数	1泊	
宿	湯51	

✓ 旅行名 (一言で)	只見線で行く 奥会津新緑ツアー	
想定予算 (一人当たり)	2万円程度	

## 只見線利活用計画概要（たたき台）

行政、民間企業及び地域住民等が只見線の利活用及び沿線地域の振興を進めるうえで、指針となる計画を目指す。

“只見線を活用した地域振興を実現するためのアクションプラン”

■目次案

項番	タイトル	概要	作成者
1	只見線沿線地域を取り巻く環境と動向		
1-1	只見線沿線地域における動向		受託会社とりまとめ
1-1-1	只見線沿線地域のこれまでの取り組み	プロモーション関連の取り組み状況	受託会社とりまとめ
1-1-1	只見線沿線地域の各種統計データ分析	人口増減や交流人口、企業誘致状況など	
1-1-2	県・近隣自治体の各種統計データ分析	同上	
1-2	只見線沿線地域の課題		受託会社とりまとめ・ワークショップ
1-2-1	本事業における各種アンケート結果要旨	住民・域内事業者の課題や要望	受託会社とりまとめ
1-2-2	本事業における関係人材・団体ヒアリング結果	同上	受託会社とりまとめ・ワークショップ
2	只見線利活用計画の基本的な考え方		
2-1	計画策定の目的	計画を策定するに至った背景	プロジェクトチーム
2-2	計画の位置づけ	他計画との関連性	プロジェクトチーム
2-3	計画の推進期間		プロジェクトチーム
3	基本方針		
3-1	目指すべき姿	○年後に目指す姿 方針・コンセプト (情緒的・定性的・キーワード)	ワークショップ・受託会社提案 プロジェクトチーム
3-2	戦略の概要・目標	KGI・KPI 等の設定	
3-3	戦略ターゲット・圏域別ターゲット	域内ターゲット、域外ターゲット ※変化させる対象・取り組み課題	
3-4	推進体制		
4	重点プロジェクト		
4-1	戦略目標を達成するための手法例	戦略・戦術のフロー図など	受託会社提案・プロジェクトチーム
4-2	基盤整備内容（案） （設備投資等）	各プロジェクトを開始するために整備しなくてはならない機能	受託会社提案・プロジェクトチーム
4-3（案）	重点事業・プロジェクト（案） （ソフト面の取り組み）	ソフトコンテンツをはじめとした枝葉のアクション	ワークショップ・受託会社提案 プロジェクトチーム
5	評価及び戦略の改訂について		
5-1	目標達成状況の評価基準	体制及び評価方法	受託会社提案・プロジェクトチーム
5-2	戦略の再検討	次期の検討について	受託会社提案・プロジェクトチーム

## 重点プロジェクト（イメージ）

プロジェクト名						
実施主体						
実施場所						
目的						
概要						
事業スキーム						
スケジュール	平成 30 年	平成 31 年	平成 32 年	平成 33 年	平成 34 年	平成 35 年以降
						
KGI・KPI						

## 只見線利活用プロジェクトチーム ワーキンググループの設置について（案）

### 目 的

年内の只見線利活用計画の取りまとめに向け、只見線利活用プロジェクトチームの下にワーキンググループを設置し、ワークショップの意見等を踏まえながら、実務者による議論を重ねることで、より実効性のある計画を目指す。

### 構 成 員

県、沿線 7 市町及び只見川電源流域振興協議会の担当者

### 検討テーマ例

- ・ 地域の目指すべき姿（コンセプト）
- ・ 重点プロジェクト
- ・ 推進体制
- ・ 数値目標の設定

⇒ワーキンググループの検討結果をプロジェクトチームに提案する。

### 検討スケジュール

	プロジェクトチーム	ワーキンググループ	ワークショップ	検討テーマ
5 月	○		○	地域特性の整理
6 月		○		地域の目指すべき姿 (コンセプト)
7 月	○	○	○	
8 月		○	○	重点プロジェクト (中間とりまとめ)
9 月	○	○		
10 月		○		数値目標設定 推進体制
11 月	○	○		
12 月	○	○		計画案とりまとめ

ふるさと納税制度を活用して行う、課題解決のための「クラウドファンディング」

## ガバメントクラウドファンディング

自治体が抱える問題・課題解決のため、ふるさと納税の寄附金の**使い道をより具体的にプロジェクト化し、そのプロジェクトに共感した方々から寄附を募る仕組み**です。

通常のふるさと納税と異なり、課題に共感した寄附者から支援されるため、課題共感者の周りへの情報拡散や、CSR観点から企業の参加が見込めます。

### 災害支援・広域連携

#### ふるさと納税を使った課題解決の事例



達成金額 **403,139,478円**  
40.3%  
 目標金額: 1,000,000,000円

#### 広島県神石高原町

犬の殺処分ゼロを目的としたプロジェクト。全国から大きな共感を得ることにより、2016年4月以降は広島県の殺処分対象犬を全頭引き取り、広島県の犬の殺処分ゼロを維持しています。

大きな共感



達成金額 **10,679,377円**  
44.5%  
 目標金額: 24,000,000円

#### 岐阜県池田町

不採算路線存続のためのプロジェクト。当初は路線維持に必要な資金を集めるために、ふるさと納税で寄附を募りましたが、今後は黒字化に向けた施策実行に必要な資金を集めるためのプロジェクトを新たに計画しております。

鉄道関係



熊本地震では、被災地自治体だけでなく、被災地と関係の深い、または被災した経験のある他の自治体が、被災地支援のためのふるさと納税受付窓口を設け、代理で寄附を募りました。

災害という課題に対して、日本中が連携してお互いに支え合う広域連携型のふるさと納税です。

# 只見線復興×クラウドファンディング

## 只見線プロジェクトでの活用検討について

本プロジェクトにおいて、ガバメントクラウドファンディングを資金調達の一つとして検討したい。

<検討案>

### 1. 復旧費及び維持管理経費への活用

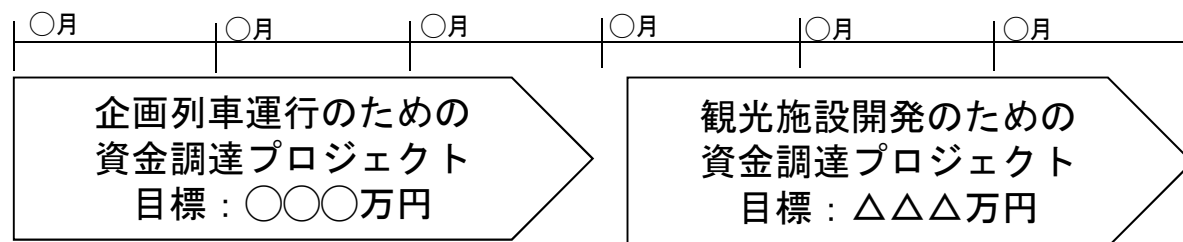
⇒沿線の各自治体で寄附の用途を共通化して、只見線復旧という共通の課題解決に向けた広域での自治体連携を目指す。

寄附の受付（窓口）



全国から寄附を募り、  
財政負担の軽減を図る

### 2. 只見線及び沿線地域に人を呼び込むための企画（プロジェクト）の資金調達として活用



柔軟な事業展開が可能  
となる。

### 3. 寄附に対するお礼の検討

⇒奥会津の特産物のほか、以下のような返礼品も検討し、鉄道ファンや課題共感者などの個人・法人から寄附を募る。

#### ○個人寄附者向け

- ・枕木オーナー
- ・記念乗車券
- ・奥会津体験型ツアー など

#### ○法人寄附向け

- ・命名権
- ・団体貸切列車の運行（研修旅行） など

返礼品により、さらなる  
地域振興が図られる。